

# スーパーマーケット景気動向調査

2017年4月調査結果（3月実績）  
（2017年4月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、
- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
  - ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 4月調査（3月実績）結果概況

### 景気判断DI 現状判断、見通し判断共に小幅に改善も

3月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+1.0の44.6、見通し判断は前月から+0.1の43.0となり、小幅な改善をみせた。

経営動向調査では、売上高DIが-11.3、収益DIは-10.9と共に二桁のマイナスとなった。来客数DIが-13.9と2桁のマイナスで低迷しているほか、客単価DIがわずかなプラスを示しているものの、1.1と低迷していることがその要因としてあげられる。

カテゴリー動向調査は、青果相場の落ち着きがみられはじめるなど、一般的に単価が下落傾向にあるなか、前年より低い気温の影響も受け、惣菜DI以外はすべてマイナスとなった。特に不漁による品不足や相場高が続く水産DIは-18.1とマイナスが大きい。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、ほとんどのDIが前月に比べ改善しているものの、小幅にとどまり、方向感のない動きとなっている。消費者購買意欲の現状判断が改善しているように足元の消費環境には悪化傾向はみられないが、長期傾向では下降トレンドが継続しており、今後の動向に注意が必要となる。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

青果相場も落ち着きをみせているなかで、販売価格DIが2か月連続でマイナスを記録し、客単価のプラス幅はわずかとなっており、来客数減をカバーすることが厳しい状況となってきた。特に畜産カテゴリーでは顕著だが、単価の上昇にむけた取組みを行う店舗と販売数量増にむけた取組みを行う店舗に戦略の二極化傾向がみられるようになってきている。外部消費環境に大きな変化が期待できないなかで、取組みの成果が好不調の可否を左右する状況をむかえている。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>44.6</b> (+1.0) 前月：43.6	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>45.1</b> (+2.0) 前月：43.1	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>43.1</b> (+1.6) 前月：41.5	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>46.4</b> (+0.2) 前月：46.2
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月： <b>43.0</b> (+0.1) 前月：42.9	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月： <b>44.0</b> (-0.1) 前月：44.1	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月： <b>41.2</b> (+0.7) 前月：40.5	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月： <b>45.4</b> (-0.1) 前月：45.5
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月： <b>-11.3</b> (+6.1) 前月：-17.4	<b>客単価DI</b> 当月： <b>1.1</b> (-1.9) 前月：3.0	<b>来客数DI</b> 当月： <b>-13.9</b> (+4.8) 前月：-18.7	
<b>収益DI</b> 当月： <b>-10.9</b> (+3.2) 前月：-14.1	<b>販売価格DI</b> 当月： <b>-0.4</b> (+1.0) 前月：-1.4	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月： <b>4.8</b> (+0.8) 前月：4.0	<b>食品仕入原価DI</b> 当月： <b>2.0</b> (+2.6) 前月：-0.6

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月： <b>-0.5</b> (-5.0) 前月：4.0	<b>水産DI</b> 当月： <b>-18.1</b> (+5.7) 前月：-23.8	<b>畜産DI</b> 当月： <b>-8.6</b> (+8.6) 前月：-17.2	
<b>惣菜DI</b> 当月： <b>1.6</b> (+8.2) 前月：-6.6	<b>日配DI</b> 当月： <b>-9.0</b> (+5.7) 前月：-14.7	<b>一般食品DI</b> 当月： <b>-8.3</b> (+3.7) 前月：-12.0	<b>非食品DI</b> 当月： <b>-14.3</b> (+0.8) 前月：-15.1

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 4月調査（3月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

うるう年の影響から反発も1月水準まで回復せず

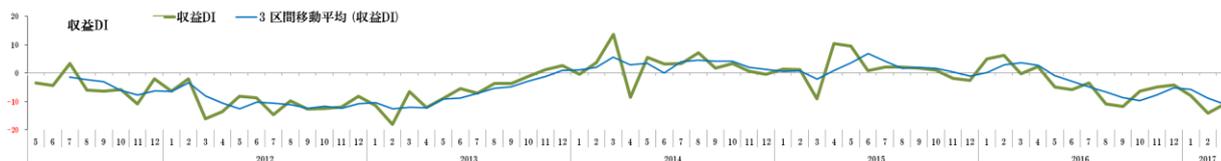
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	15.2	49.0	26.3	9.6	0.0	-17.4
売上高 (当月)	9.2	44.1	29.2	17.4	0.0	-11.3



### 2. 収益DI

うるう年の影響から反発も1月水準まで回復せず

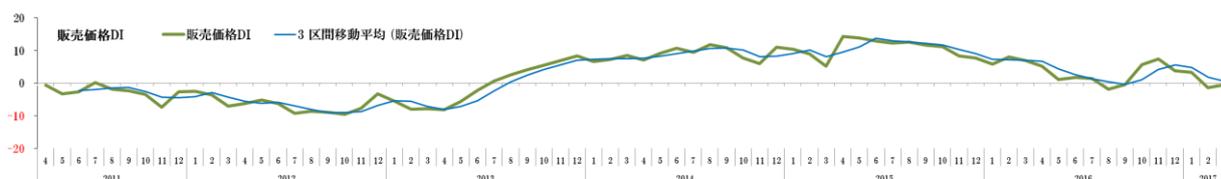
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	12.2	43.1	34.5	9.1	1.0	-14.1
収益 (当月)	10.4	39.1	34.9	15.1	0.5	-10.9



### 3. 販売価格DI

2ヵ月連続のマイナスを記録し、下降傾向が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	1.5	18.7	64.1	15.2	0.5	-1.4
販売価格 (当月)	0.5	20.6	58.8	20.1	0.0	-0.4



### 4. 客単価DI

わずかにプラス圏を維持するも、頭の重い状況が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	2.0	17.2	48.0	32.3	0.5	3.0
客単価 (当月)	0.0	24.0	47.4	28.6	0.0	1.1



## 5. 来客数 DI

やや持ち直しも4ヵ月連続の二桁マイナスを記録

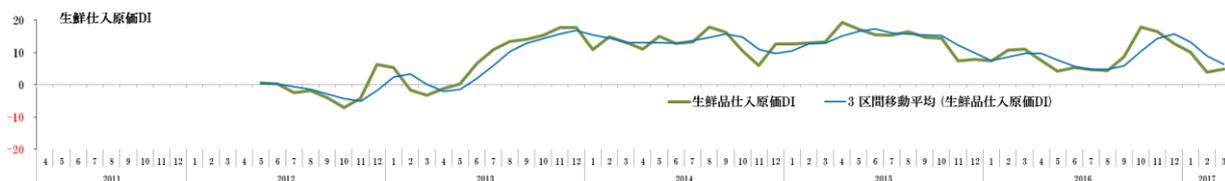
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	13.7	51.8	29.9	4.6	0.0	-18.7
<b>来客数 (当月)</b>	<b>10.3</b>	<b>46.9</b>	<b>30.9</b>	<b>11.9</b>	<b>0.0</b>	<b>-18.9</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

当月は横ばい推移もプラス幅は縮小

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	4.6	10.2	51.5	32.1	1.5	4.0
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>2.6</b>	<b>9.9</b>	<b>53.9</b>	<b>32.5</b>	<b>1.0</b>	<b>4.8</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

2013年2月以来のマイナスを記録するも当月はやや上昇

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	5.6	8.1	70.1	15.7	0.5	-0.6
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>2.1</b>	<b>8.3</b>	<b>69.3</b>	<b>20.3</b>	<b>0.0</b>	<b>2.0</b>

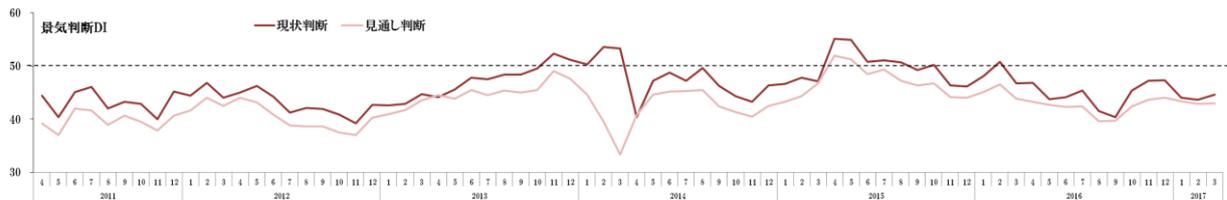


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断はやや改善、見通し判断は横ばいで、方向感はみえず

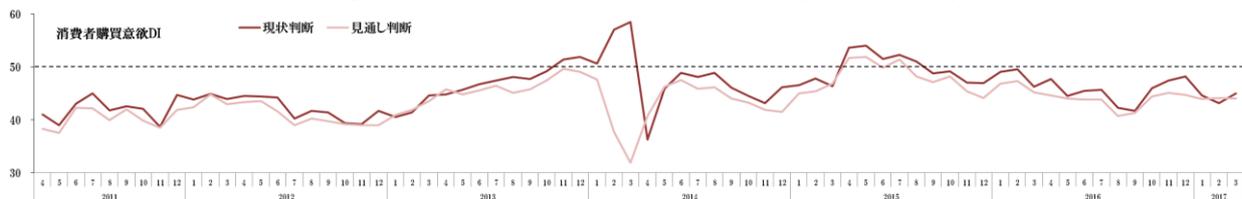
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	0.5	30.5	63.0	6.0	0.0	43.6
【現状】景況判断 (当月)	0.5	27.7	65.1	6.2	0.5	44.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	2.5	29.0	63.0	5.5	0.0	42.9
【見通し】景況判断 (当月)	2.6	28.6	63.3	5.6	0.0	43.0



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断はやや改善、見通し判断は横ばいで、方向感はみえず

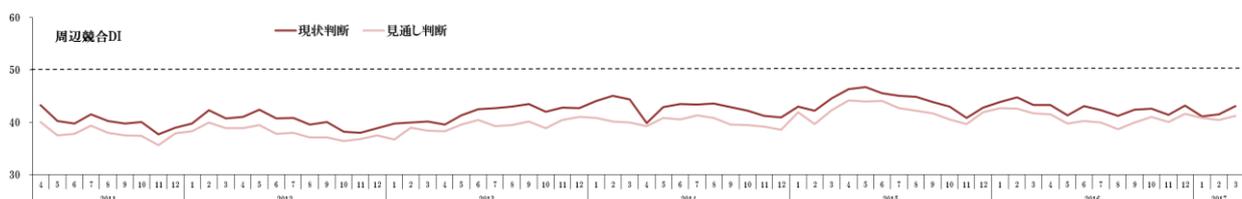
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.0	29.5	65.5	4.0	0.0	43.1
【現状】購買意欲 (当月)	0.5	23.4	71.6	4.6	0.0	45.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.5	25.0	69.0	4.5	0.0	44.1
【見通し】購買意欲 (当月)	1.0	25.0	70.9	3.1	0.0	44.0



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に弱含みで改善の兆しがみえず

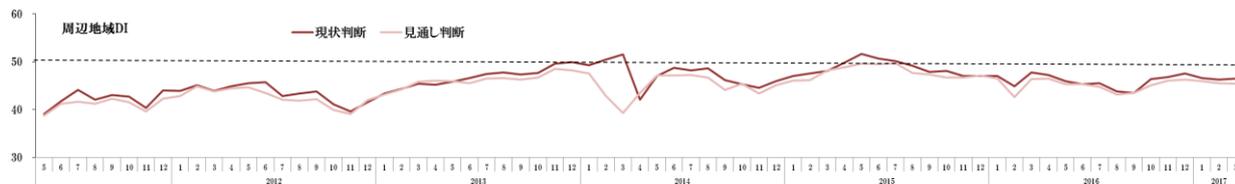
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.0	29.5	66.0	1.5	0.0	41.5
【現状】競合状況 (当月)	2.0	27.4	66.5	4.1	0.0	43.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.0	32.0	62.0	2.0	0.0	40.5
【見通し】競合状況 (当月)	4.6	29.6	62.2	3.6	0.0	41.2



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

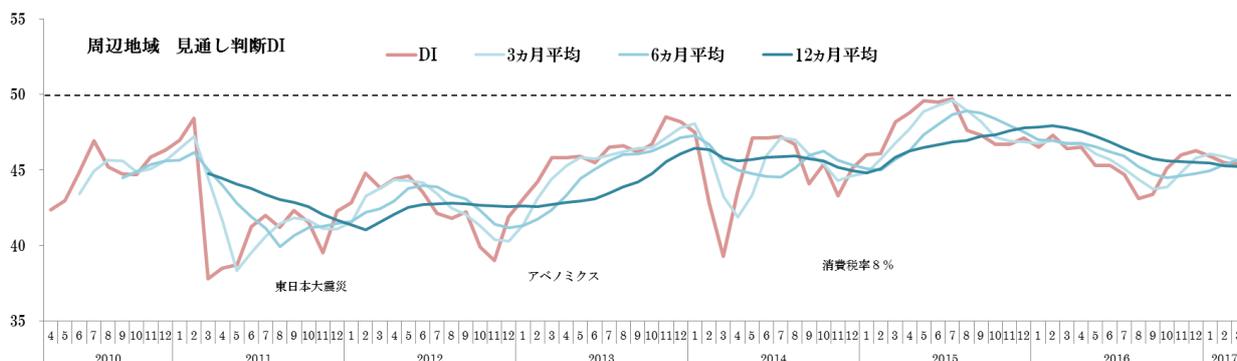
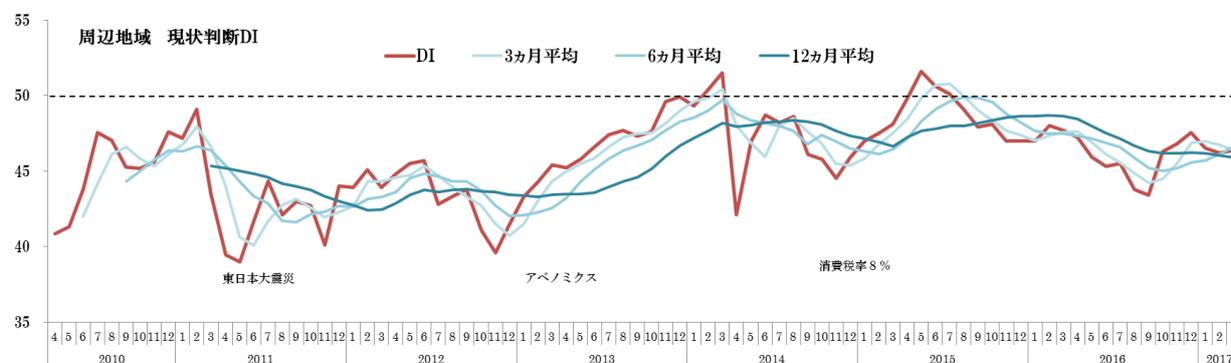
現状判断、見通し判断共に横ばい推移

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.0	17.1	80.9	2.0	0.0	46.2
【現状】地域景気 (当月)	0.5	16.8	79.7	2.5	0.5	46.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	0.5	19.0	78.5	2.0	0.0	45.5
【見通し】地域景気 (当月)	1.0	18.5	79.0	1.0	0.5	45.4



#### 長期傾向 (2010年4月～)

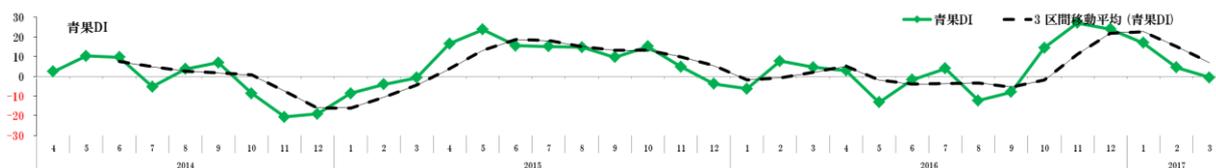
2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、12月まで小幅な改善が続いた。2017年に入り、方向感なく横ばい推移が継続しており、3ヵ月、12ヵ月移動平均はマイナスでの推移となっている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-0.5（やや不調）

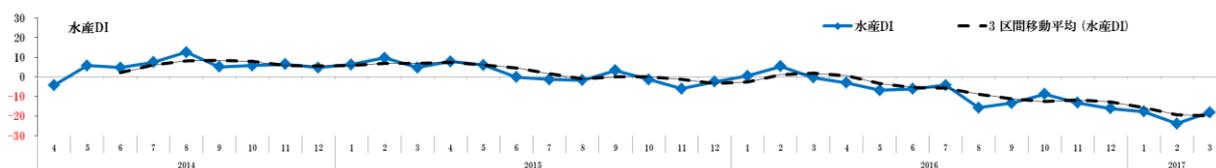
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (前月)	5.8	20.1	33.9	30.7	9.5	4.5
青果 (当月)	4.9	31.4	29.2	30.3	4.3	-0.5



全般的に野菜類は、相場が低下傾向にあり、入荷数量が増加したことで、販売数量が増加したものの、単価が下落したため、相殺され前年並みとなった店舗が多くなった。葉物類は月の後半から相場高となった地域もみられる。トマト・キュウリ、ピーマンなどのサラダ関連は相場安の影響が大きく振るわなかった。前年より低めに推移した気温により鍋物需要が高まり、葉物類やきのこ類などの動きがよかった。果物では、値ごろ感のあるいちごや柑橘類が好調だが、前年好調だったバナナは不調。カットフルーツは引き続き好調となっている。

#### 2. 水産DI：-18.1（不調）

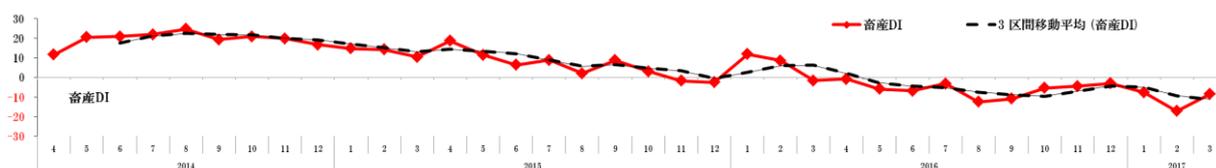
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (前月)	25.4	49.2	21.2	3.7	0.5	-23.8
水産 (当月)	16.9	49.7	22.2	11.1	0.0	-18.1



引き続き生魚の入荷が少なく、相場も高値で推移していることに加え、前年より低い気温を記録した地域では、刺身類が伸び悩みをみせた。いか類は入荷減と相場高で落ち込みが厳しく、代わりにタコがよく動いた。不漁により、旬魚であるいかなごやサワラを売り込めず、養殖のぶりやかれい、うなぎなどの売り込みを行っている店舗もみられる。ひな祭りやお花見用の商材は比較的好調に推移した。前年特需を記録した海藻類は反動で不振となった。

#### 3. 畜産DI：-8.6（やや不調）

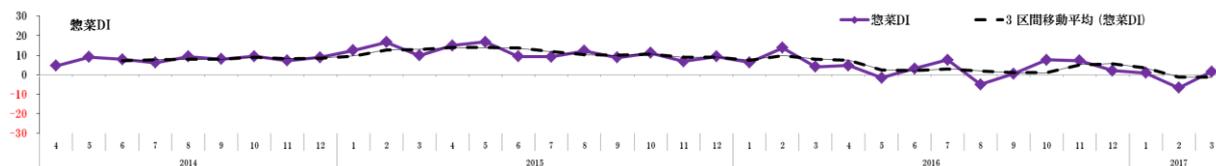
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (前月)	15.3	48.4	27.4	7.9	1.1	-17.2
畜産 (当月)	10.1	38.6	28.6	21.2	1.6	-8.6



和牛は相場高が続いているなか、切り落としを中心とした輸入牛の売り込みを強化する動きと国産牛を中心に販売する店舗に戦略が二極化する傾向が続いている。豚肉については低価格で値ごろ感を打ち出しており、販売数量増加の有無により好不調が分かれている。ブラジル産の報道により、鶏肉は不振となった店舗が多い。

#### 4. 惣菜DI：1.6（やや好調）

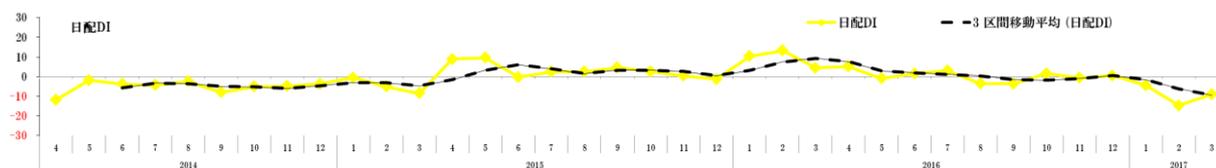
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜 (前月)	8.0	33.0	38.3	19.1	1.6	-6.6
<b>惣菜 (当月)</b>	<b>5.9</b>	<b>20.9</b>	<b>39.6</b>	<b>28.3</b>	<b>5.3</b>	<b>1.6</b>



桜の開花が遅れ、お花見需要が4月にずれ込んだ地域もあったため伸び悩みをみせた。ひなまつり商戦はちらしずしなどが好調であったが、前年との比較で気温が低く、生寿司関連やサラダ関連は不振であった。筍など季節性のある弁当や新メニュー開発などの取組みにより成果をあげている店舗が多い。お弁当・お惣菜大賞受賞商品が好調に推移したというコメントもみられた。

#### 5. 日配DI：-9.0（やや不調）

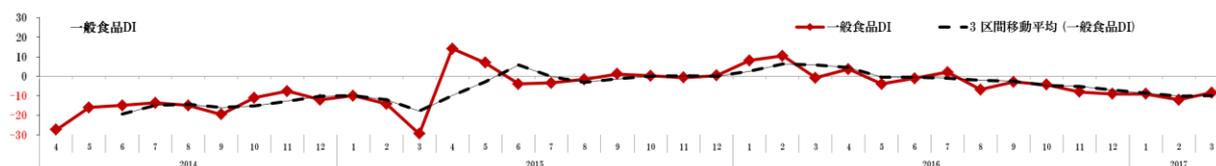
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配 (前月)	13.2	42.6	34.7	8.9	0.5	-14.7
<b>日配 (当月)</b>	<b>7.9</b>	<b>39.2</b>	<b>34.9</b>	<b>16.9</b>	<b>1.1</b>	<b>-9.0</b>



前年との比較で気温が低く、麺類などのホット商材は好調であったが、飲料や前年からの反動もある機能性ヨーグルトなどが落ち込みをみせた。メディアで取り上げられた甘酒や豆乳や牛乳などが引き続き好調。低迷の続くパン類は一部に回復傾向がみられた店舗もあった。漬物や練り物などは好不調がわかれている。他業態との価格競争の厳しさへの指摘が散見された。

#### 6. 一般食品：-8.3（やや不調）

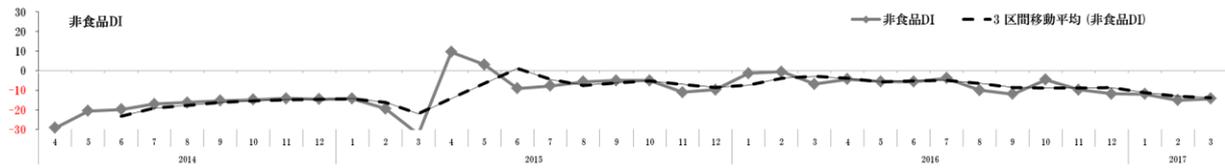
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品 (前月)	9.0	43.4	34.4	13.2	0.0	-12.0
<b>一般食品 (当月)</b>	<b>5.9</b>	<b>39.6</b>	<b>37.4</b>	<b>16.0</b>	<b>1.1</b>	<b>-8.3</b>



花見時期のずれ込みと前年との比較で気温が低く、飲料やアルコール類は不調となった一方で、ホット商材（スープ類）やカレーなどは好調となった。前年より単価の上昇している米は引き続き好調となっている。前年好調の和風調味料は反動で不調、冷凍食品を好調とする店舗も多くみられた。

#### 7. 非食品DI：-14.3（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品 (前月)	14.5	43.0	32.8	7.5	2.2	-15.1
<b>非食品 (当月)</b>	<b>12.8</b>	<b>43.9</b>	<b>32.8</b>	<b>8.9</b>	<b>1.7</b>	<b>-14.3</b>



前年の駆け込み需要にあったタバコの売上が落ち込んでいるほか、ホームセンター、ドラッグストアなどとの価格競争が激しく低迷が続いている。前年より低い気温により春物衣料も不振となった。

### カテゴリ別 DI による好不調判断

かなり好調： ~ 20	好調： 20 ~ 10	やや好調： 10 ~ 0
やや不調： 0 ~ -10	不調： -10 ~ -20	かなり不調： -20 ~

### 2017年4月調査(3月実績) キーワード TOP3

1. 前年より低い気温
2. 花見時期の遅れ
3. 単価の下落と販売数量

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

3月実績速報版 197 社  
2月実績確報版 200 社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)